

SX-Aurora TSUBASA ソフトウェア (2020 年 7 月リリース)
リリースノート

日本電気株式会社

平素は SX-Aurora TSUBASA をご利用いただき誠にありがとうございます。2020 年 7 月リリースの SX-Aurora TSUBASA ソフトウェアについて、前バージョン(2020 年 5 月リリース)からの強化内容につきまして以下に記載いたします。

1. 概要

2020 年 5 月リリースに対し、すべての製品で RHEL/CentOS 8.1 に対応しました。また、Aurora2 搭載モデル(B401-8)に対応しました。

2. 動作環境

SX-Aurora TSUBASA ソフトウェアは、以下の Linux ディストリビューションのバージョンおよびカーネルバージョンにおいて動作を検証しております。掲載以外のバージョンでは、動作を保証できなくなる場合がありますのでご注意ください。

| OS バージョン | カーネルバージョン |
|------------|--|
| RHEL 8.1 | 4.18.0-147.8.1.el8_1.x86_64 |
| CentOS 8.1 | |
| RHEL 7.7 | 3.10.0-1062.4.1.el7.x86_64 3.10.0-1062.12.1.el7.x86_64 3.10.0-1062.18.1.el7.x86_64 |
| CentOS 7.7 | |
| | |
| RHEL 7.6 | 3.10.0-957.21.3.el7.x86_64 3.10.0-957.27.2.el7.x86_64 |
| CentOS 7.6 | |

ベクトルホスト(VH)ターゲットモデル：

| | エッジ モデル | オンサイト モデル | | | | データ センター モデル |
|-------------------|----------------------------|--------------|------------------|------------------|------------------|--------------------|
| モデル名称 | A100-1 A101-1 A111-1 | A300-2 | A300-4 A311-4 | A300-8 A311-8 | A412-8 B401-8 | A500-64 A511-64 |
| 最大搭載ベクトルエンジン(VE)数 | 1 | 2 | 4 | 8 | 8 | 64 |

3. 本リリースでの主な強化・変更点

本リリースでは、下記の項目を強化しました。

| 製品名 | カテゴリ | 強化内容 |
|---|--------------|---|
| VEOS | OS | ファイルへの Partial process swapping プロセスアカウント強化 |
| SX-Aurora TSUBASA 用 InfiniBand | インター コネクト | 性能改善 |
| NEC Software Development Kit for Vector Engine | コンパイ ラ | トレースバック機能強化 オプション指示行のサポート |
| NEC MPI | MPI | モデル A412-8 向けに、MPI の設定ファイル による各 VE が MPI 通信に使用する HCA の指 定をサポート NQSV での実行時に物理ノードを基準に通信 種別を自動選択する機能をサポート |
| NQSV | スケジュー ーラ | VE プロセスアカウント対応 VE サスペンド機能強化 同時実行 VE ノード数制限機能 課金額変更機能強化 Intel MPI、OpenMPI、MVAPICH2 の新バージョンをサポート ユーザ指定のジョブ投入機能 RHEL 8.1 サポートの制限解除 |
| ScaTeFS | ファイル システム | FS モニタリング対応 DDN ストレージ対応 |

VEOS の変更内容については、下記も併せてご確認ください。

VEOS ドキュメント”WHAT’S NEW”

<https://veos-sxarr-nec.github.io/doc/Japanese/WHATSNEW.txt>

4. 注意・制限事項

なし

以上